

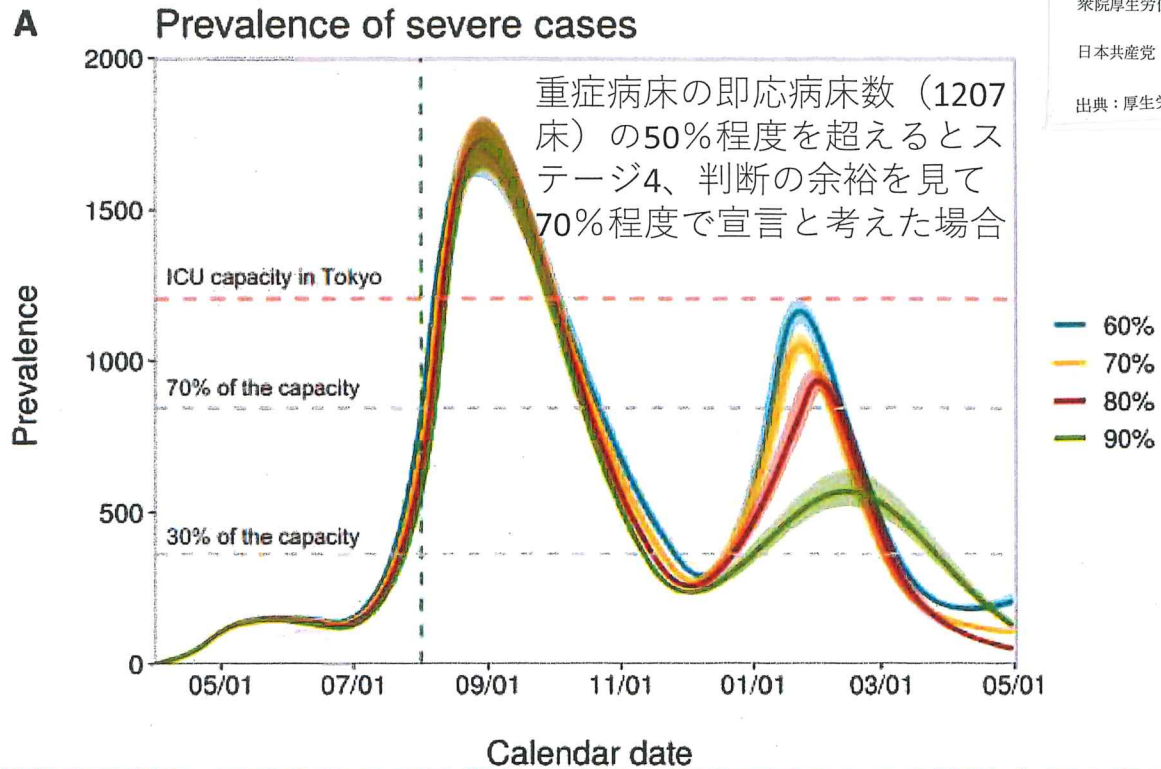
8月上旬に緊急事態宣言を実施するとすれば、重症患者数の予測はどう変わるか（東京の予測）

2021年6月11日

衆院厚生労働委員会提出資料

日本共産党 宮本徹

出典：厚生労働省 HP

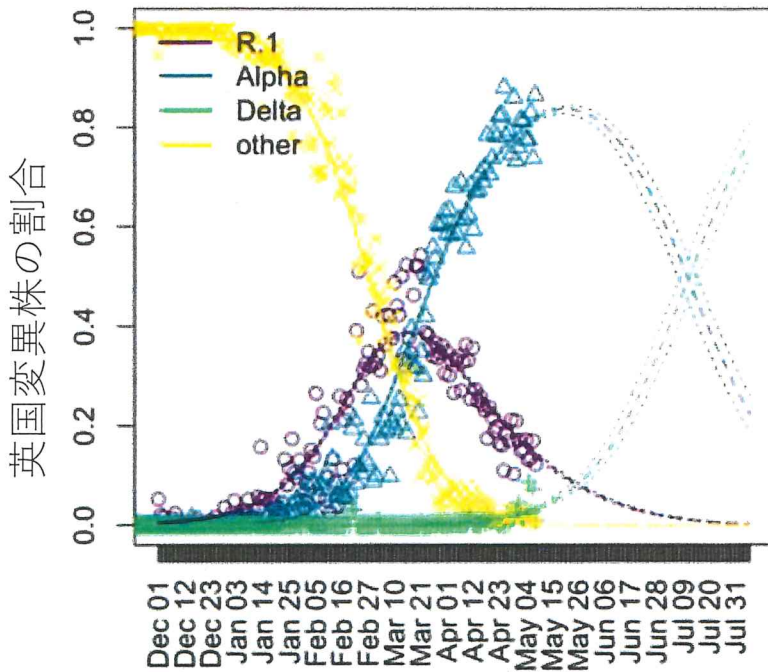


- ・ 緊急事態宣言期間 = 即応病床の7割を超えて以降、3割を下回るまでの期間（8月上旬から11月中旬）を避けられない
- ・ 7月末までに高齢者接種率が90%以上だと、1月からの第5回目緊急事態宣言は避けられる⁸¹

シナリオ分析まとめ

- ・ 仮に65歳以上高齢者のほぼ全てを7月末までに接種できたとしても、**重症患者病床が不足する流行が起こりうる**
- ・ 高齢者接種後の流行の入院患者は中年・壮年が中心で、これまでより規模が大きいので**2か月以上の宣言期間（即応病床の7割を超えて以降、3割を下回るまでの期間）を要する**
- ・ 現行措置のオプション内では、**遅くとも8月中旬に緊急事態宣言相当の流行になることを避けられない可能性を十分に想定する必要がある（五輪開催によらない）**

変異株の割合の推移の予測(日本)



変異株の再生産数の超過率

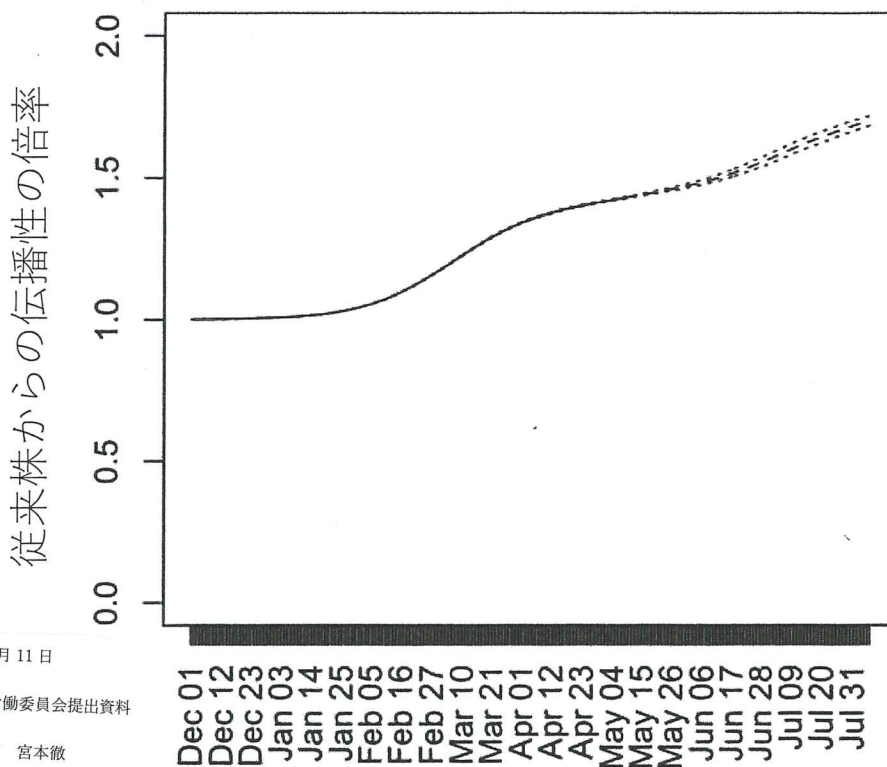
Parameter	Estimate	95 % CI
R.1	25.6%	(25.3%, 25.7%)
Alpha	44.9%	(44.6%, 45.0%)
Delta	77.6%	(76.8%, 78.2%)

GISAIDに登録されている日本のウイルス株の頻度の変化を解析した結果、Delta株（インド株）の再生産数は変異を持たない株より**77.6%**高い。**7月中旬にDelta株が半数を超えると予想される。**

北大・伊藤公人教授との共同研究
AMED伊藤班 (JP20fk0108535)

Ito, Piantham, Nishiura, medRxiv 準備中

相対的な伝播力の推移 (日本)



Delta株の増加に伴いウイルスの伝播性は**6月中旬から上昇すると予想される。**

2021年6月11日

衆院厚生労働委員会提出資料

日本共産党 宮本徹

出典：厚生労働省 HP

北大・伊藤公人教授との共同研究
AMED伊藤班 (JP20fk0108535)

Ito, Piantham, Nishiura, medRxiv 準備中